

診療放射線技師

坂東良太(ばんどう りょうた) 技師

診療放射線技師は、医師の指示の下で放射線を用いて検査や治療を行う仕事です。健康診断などで撮影されるレントゲン検査だけでなくCT検査やMRI検査、核医学検査から放射線治療まで多岐にわたっており、医療の現場になくてはならない存在です。坂東技師は現在、血管造影検査を担当しています。血管造影検査とは、その名の通り血管を撮影する検査です。細かな血管の状態や血液の流れを調べるために、カテーテルという細い管を目的の血管まで通し、造影剤を流して撮影を行います。特徴として、MRI検査やCT検査では分からない細かな箇所まで撮影が可能なこと、先端が風船状となっているバルーンカテーテルを血管の内部で膨らまし血管を広げる等、手術に比べ低侵襲で治療が可能なこと挙げられますが、合併症や血管を傷つける可能性もあり、不安を抱えて検査に臨まれる患者さんが多くいます。そのため、「安心して検査を受けて頂けるよう、検査内容を丁寧に説明すること」を心がけているそうです。365日緊急呼び出し体制で夜間、休日関係なく必要があれば血管撮影室で検査や治療を行うことは大変ですが、脳梗塞や心筋梗塞などの検査や治療を受けた患者さんが良くなっていく様子を見ると、救命

医療の一端を担っているやりがいを実感するとのこと。最後に知識や技術の向上のため専門技師の資格取得し、臨床だけでなく研究に対しても努力していきたいと語ってくれました。

